

令和5年度

学校評価



令和6年3月

山梨市立日下部小学校

令和5年度学校評価の概要について

■ 1 学校評価のねらい

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

※ 学校評価は、あくまでも学校運営の改善による教育水準の向上を図るための手段であり、それ自体が目的ではない。学校評価の実施そのものが自己目的化してしまわないよう、地域の実情も踏まえた実効性のある学校評価を実施していくことが何よりも重要である。

■ 2 学校評価の実施手法

- 自 己 評 価：教職員による評価（Forms を利用した回答と分析）
（児童・保護者を対象に行うアンケート（Forms）を行い、学校評価に活用する）
- 学校関係者評価：P T A運営委員会、学校運営協議会による学校運営に対する意見交換
（自己評価結果の公表と評価 それに基づく次年度経営方針の承認）
- 第 三 者 評 価：第三者（当事者・関係者でない者）による評価

■ 3 学校評価の年間計画

- （1）自己評価、児童・保護者アンケートを実施し、結果を考察する。
- （2）改善点を明確化・焦点化し、改善策を立案・実施する。
- （3）設置者（市教委）に報告する

ア→アンケート実施 分→教職員による結果の共有・分析→改善策の立案・実施

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
教職員				ア	分						ア	分
児 童				生活 ア 分			生活 ア 分	ア	分		生活 ア 分	
保護者								ア	分			
P T A C S											P 運営 委 C S	報 告

■ 4 評価の実施日

- 自己評価 〈前期〉 令和 5 年 7 月 14 日（金）～19 日（水）実施
 〈後期〉 令和 6 年 1 月 15 日（月）～1 月 31 日（水）実施
- 保護者アンケート 令和 6 年 1 月 29 日（月）～2 月 16 日（金）実施
- 児童アンケート 令和 6 年 1 月 17 日（水）～22 日（月）実施

■ 5 評価方法・項目の見直し

- ・本校のグランドデザインに合わせ、学校教育目標「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」を基に「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」「望ましい集団の育成」の 4 つの観点について教職員、保護者、児童がそれぞれから評価できるよう、項目内容を整理した。また、「持続可能な学校教育の創造」「ICT 機器の活用」「SOS の出し方教育の推進」「学校運営協議会」の 4 点を項目の中に織り交ぜて、今日的な教育課題についての評価へも対応できるようにした。

■ 6 評価結果から

【自己評価】

- ・評価項目数 23
- ・前期自己評価の評価結果をもとに、関係する分掌主任を中心に、分析・整理を行い年度後期の取組を設定。3 学期に後期自己評価を行い、同じく分析・整理を行い、次年度への方向性（案）を設定した。

【保護者アンケート】

- ・評価項目数 18

【児童アンケート】

- ・評価項目数 11
- ・回答対象は全児童
- ・保護者アンケートの結果と併せて分析

学校評価 アンケート項目



令和5年度学校評価評価項目		
教職員評価項目		
		A:十分にできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない
		★:主語は「学校は」と読み替える。
項目	No	評価
学校経営・組織	1	学校経営方針（グランドデザイン）に基づく教育活動を推進している。
	2	★教育目標の具現化に向けて、組織的・機能的に取り組むよう努めている。
	3	安全・安心な学校環境づくりに向け、課題改善を進め、危機管理体制の充実に努めている。
	4	働き方改革も含めた持続可能な学校教育を創造する意識を持って、職務遂行にあたっている。
	課題・意見	
確かな学力	5	主体的・対話的で深い学びの充実に向け、ICT機器を活用した授業づくりに努めている。
	6	授業に有機的に結び付けられるよう、家庭学習（宿題や課題）の充実に図っている。
	7	★特別支援教育、通級指導の充実に努め、組織的に連携した教育を推進している。
	8	学校図書館を利用し、読書を通じた国語力の向上につながるよう努めている。
	9	JTEや専科、学担が連携し、英語科教育の充実に努めている。
	課題・意見	
豊かな心・望ましい集団	10	いじめ防止基本方針を理解し、それに基づいた取り組みを推進している。
	11	児童の共感的理解に努め、愛情と信頼に基づく生徒指導に努めている。
	12	SOSの出し方に関する教育の実施や生活アンケート等を通じ、関係機関とも連携した組織的支援の充実に努めている。
	13	体験的活動を重視し、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に努めている。
	14	児童会活動や清掃活動、当番活動等を通して自主性、社会性、協調性の育成に努めている。
	15	明るく爽やかなあいさつ、場に応じた言葉づかい等、美しい言語表現の育成に努めている。
	16	学級力向上プロジェクトを活用し、望ましい学級集団・学習集団の形成に努めている。
	課題・意見	
健やかな体	17	生活の安全、交通安全、防災等の安全教育に取り組んでいる。
	18	家庭との連携による基本的な生活習慣の育成に努めている。
	19	楽しみながら自ら体を鍛える継続的な「健康・体力づくり」に取り組んでいる。
	課題・意見	
地域・社会に開かれた学校	20	地域や保護者の学校教育参画促進のため、学校運営協議会の理解を深め活動が充実するよう努めている。
	21	地域人材を生かした教育の推進に努めている。
	22	★地域や保護者に学校の教育活動について発信するよう努めている。
	23	★安心・安全な学校・地域を目指し、地域・保護者との連携に努めている。
	課題・意見	
全体	意見等	

令和5年度学校評価評価項目		
保護者評価項目		
A:そう思う B:ややそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:わからない		
項目	No	評価
学校経営・組織	1	お子さんは、楽しく学校に通っていますか。
	2	学校は、自ら考え、進んで学習する子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。
	3	学校は、防災防犯などの危機管理に努め、自ら命を守る子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。
確かな学力	4	学校は、積極的にICT機器の活用を進め、確かな学力の育成に努めていると思いますか。
	5	学校は、個に応じた教育の充実のため、職員同士が連携して教育を進めていると思いますか。
	6	お子さんは、すすんで読書をしていますか。
	7	お子さんは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学習）に進んで取り組んでいますか。
豊かな心・望ましい集団	8	学校は、いじめの早期発見に努め、いじめをなくすための指導に努めていると思いますか。
	9	学校は、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に取り組んでいると思いますか。
	10	学校は、様々な体験活動を通して、自主性や社会性、協調性を育む教育に取り組んでいると思いますか。
	11	お子さんは、あいさつや返事などがしっかりできますか。
	12	子どもの生活や学習のことで、学校や担任の先生に気軽に相談ができますか。
健やかな体	13	学校は、家庭と連携を取りながら、基本的な生活習慣の育成に取り組んでいると思いますか。
	14	学校は、児童が楽しみながら健康・体力づくりに励むよう取り組んでいると思いますか。
地域・社会に開かれた学校	15	学校は、地域や保護者が学校教育へ積極的に参加するよう推進していると思いますか。
	16	学校は、地域の人材等を生かした教育の推進に取り組んでいると思いますか。
	17	学校は、学校での取組を積極的に家庭や地域に発信していると思いますか。
	18	学校は、児童の安心、安全の確保のために、家庭や地域との連携に取り組んでいると思いますか。
全体	意見等	

令和5年度学校評価評価項目		
児童評価項目		
項目	No	評価
学校経営・組織	1	あなたは、楽しく学校に通っていますか。
	2	あなたは、地震が起きた時や不審者にあった時に、正しく行動できると思いますか。
確かな学力	3	あなたは、読書をしていますか。
	4	あなたは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学習）をしていますか。
	5	あなたは、授業で、自分で考えたりすすんで学習に取り組んだりしていますか。
豊かな心・望ましい集団	6	あなたは、あいさつや返事をしっかりしていますか。
	7	あなたは、いじめをせず、友だちと協力したり、仲良くしたりしていますか。
	8	あなたは、交通ルールや学校の決まりを守るようにしていますか。
	9	あなたは生活や学習のことで、担任の先生や学校の先生方に気軽に相談できますか。
健やかな体	10	あなたは、進んで運動したり外で遊んだりしていますか。
地域・社会に開かれた学校	11	あなたは、家の外で安心して遊んだり、安心して登校や下校していますか。

学校評価

評価結果



令和5年度 日下部小学校の教育 教職員自己評価の結果

令和5年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案						学校経営・組織	
分析・立案担当：		校長	教頭	飯室			
良い点							
・全体的に昨年度の同時期に比べAが多くなっている評価と言える。 ・避難訓練、引き渡し訓練、防犯教室等を計画的に行うことができ、安心、安全な学校づくりの評価が高くなっている。 ・校長先生のグランドデザインに基づき、職員が同じ方向を向いて取り組んでいる。							
課題点		改善策			取り組み		
欠員等が生じる中で、先生方の負担が増えてしまった。		人員の補充。					
働き方改革、業務改善があまり進んでいない。		終礼の設定を柔軟に考える。早められるときは早め、必要がなければやらない。			なるべく早めに終礼の有無や時刻を職員全体に伝達する。		
		令和5年度アクションプランの開示			アクションプランの中から実施可能な取組を意識的に行う		
以下は後期自己評価後に記入							
成果		課題点			次年度の方向性（案）		
・全職員がグランドデザインに基づき、一丸となって教育活動にあたり、学校教育目標の達成により近づくことができた。 ・「あいさつ・読書・外遊び」のくさかべチャレンジを合言葉とした学校長からのシンプルな言葉がけが、学校として目指す方向性を児童にも示すことができおり、全体的に良好な評価結果へとつながっている。 ・昨年度の反省を生かして、計画していた避難訓練・防犯訓練を全て行えたことで児童の間にも「自分の命は自分で守る」という意識が高まり、より安心安全な教育環境へと近づくことができた。 ・教務主任を中心に校務のDX化が進み、働き方改革につながっている。		・働き方改革の理念共有はできているものの、業務の縮小や削減が十分にできないことから実効性が伴わない状況となっている。 ・より様々な場面を想定した避難訓練の実施。			・学校教育目標のより確実な達成に向けて、校務分掌を再編し、より組織的・機能的に教育活動が推進できるようにする。 ・管理職がイニシアチブを取りつつも、働き方改革が実効性を伴うようなアイデアを集め取り組む。 ・学年、ブロック等で連携を密に取り、役割分担を明確にした上で校務に取り組む。 ・様々な場面を想定した避難訓練を計画的に実施していく。		
学校経営・組織 1							
★学校経営方針（グランドデザイン）に基づく教育活動を推進している。							
R5前期	56%				44%		
R5後期	56%				44%		
A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない							

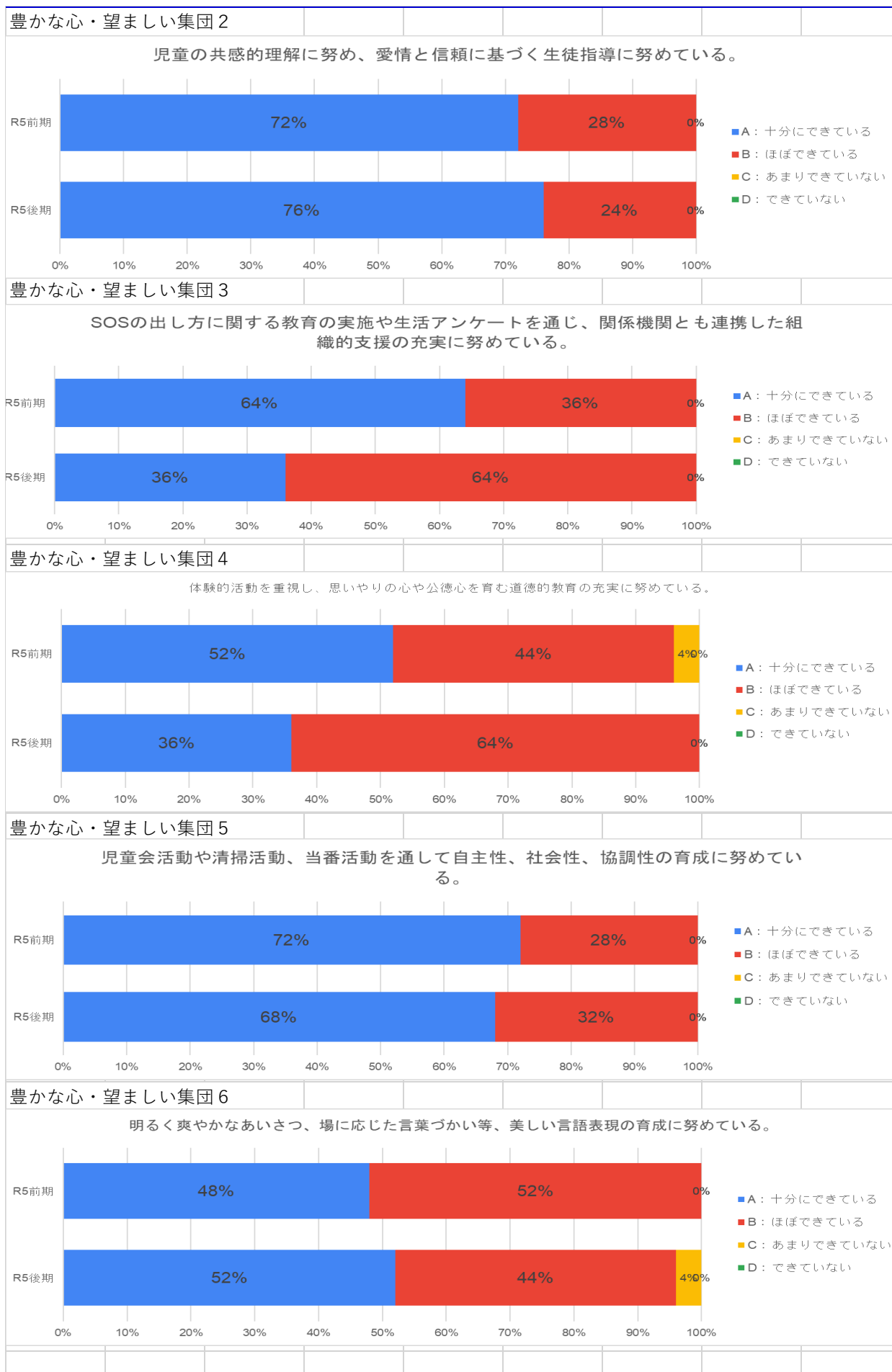
学校経営・組織 2									
★教育目標の具現化に向けて、組織的・機能的に取り組むよう努めている。									
R5前期	56%					40%			A:十分にできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない
R5後期	56%					44%			
学校経営・組織 3									
安心・安全な学校環境づくりに向け、課題改善を進め、危機管理体制の充実に努めている。									
R5前期	52%					48%			A:十分にできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない
R5後期	60%					40%			
学校経営・組織 4									
働き方改革も含めた持続可能な学校教育を創造するいしきを持って、職務遂行にあ									
たっている。									
R5前期	40%					48%			A:十分にできている B:ほぼできている C:あまりできていない D:できていない
R5後期	36%					60%			
学校経営・組織 課題・意見（前期）									
欠員がある中、協力体制で乗り切ることができた。									
欠員による負担が組織に広がり多忙感やストレス増の原因に繋がった。一方で職員間の親和的な関係作りに互いに努める様子がうかがえた。									
学級担任教師の負担軽減が課題だと考える。									
4について。年度当初から欠員がある中、さらに途中で欠員が増える中、管理職や教務主任にはさらなる負担を背負っていただき、申し訳ない気持ちです。働き方改革、学校の責任ではないところで進まない現状が苦しいです。									
全体的に少し足並みがそろってないような気がします。負担が一部に偏っている気がします。									
職員数が足りず、様々な面で無理が出ていると思います。									
多忙化解消のために仕事の優先順位を決めたり精選をしているが、元々の仕事の量が多いので、思うように進んでいない。									
学校経営・組織 課題・意見（後期）									
多忙で、働き方改革を推進することができない。さらなる業務の削減を進める必要がある。									
働き方改革について。何度も話題に出ている内容かと思いますが、児童の登校時刻が他の学校と比較しても早すぎるように感じます。18時以降の電話のように、働き方改革の一環ということで登校時刻をこれ以上早めすぎないよう各家庭に周知する必要があるのかなと思いました。									
欠員1があったことで負担感が倍増したように感じる。また、管理職がお二方とも職員室に不在なこともあり、不安に感じたこともあった。									
していても出さずに協力して頑張っている現状もあるので、来年度は改善していただきたい。また、管理職がお忙しいのも分かっているが、職員室におらず、不安に感じることもある。									
管理職が二人とも不在の 때가、多々あり、何か起こったときにどうするのか不安。問題が起きた時に、指示系統が確立されておらず、困惑することがある。4月から欠員が続いており、一人一人の負担が大きくなり、働き方改革につながっていない。									
喫緊の課題について最大限に対応できている									

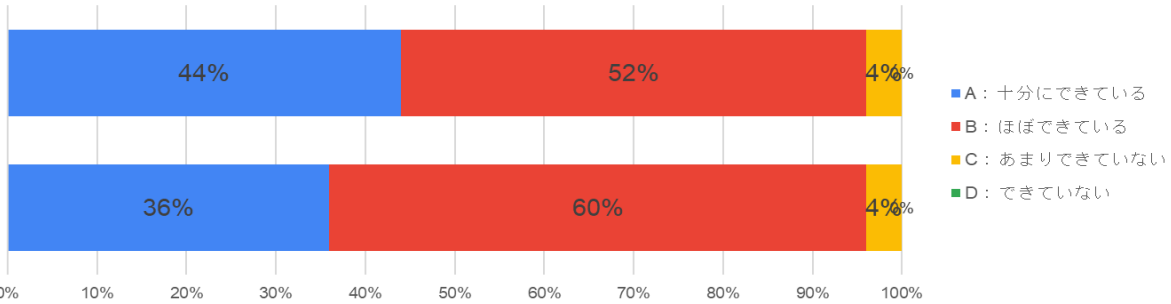
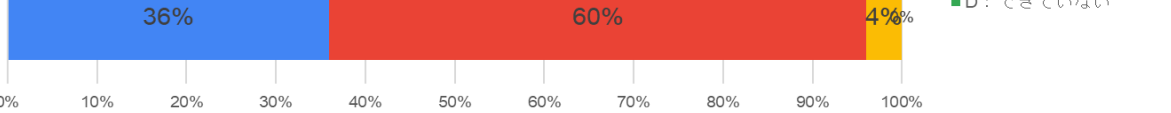
令和5年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案						確かな学力	
分析・立案担当：		佐久間 武藤 島田 萩原 橋本 海野 新海					
良い点							
○確かな学力1で昨年度の前期に比べAの割合が大幅に増えている。							
○各学年で8のつく日の取り組みや自主学習の紹介、クロムブックの活用などによって家庭学習と授業を結びつけている様子が見られる。							
○特別支援教育，通級指導の充実のポイントが高い。							
○図書館も制限なく利用ができるようになり、多くの児童が読書に親しんでいる。							
○英語科教育の充実のポイントが高い。							
課題点		改善策		取り組み			
・ICT機器の活用はほかの項目に比べてCの割合が高い。		・1人1台端末の具体的な活用場面や活用方法を実践・共有し，授業づくりに生かす。		・ミニ校内研として，授業を場面ごとに区切り，その場面ごとの活用方法を交流し合う。			
・図書館利用の充実。		・児童が読書に対する意欲が上がるような様々な取り組みを講じる。		・生徒指導では，月の目標を読書の意欲向上に沿ったものにする。また，図書館では，くじの日や読書パスポート，読書の旅，ビンゴなどの様々な取り組みを行う。			
以下は後期自己評価後に記入							
成果		課題点		次年度の方Ⓐ向性（案）			
・ICT機器を活用した授業づくりの項目のA,Bの割合が9割を超え，前期よりも改善された。校内研究や日々の情報交換の中で，具体的な活用方法や課題・改善点を交流したことが成果につながったと考えられる。 ・今年度は，端末を活用して，家庭学習をより有機的に，授業に結びつけられるようになった。		・ICT主体にはあるが，ICTを必要としない表現力や記述力という部分にも目を向ける。 ・学年段階を考慮して，特に低学年では，アナログの力を十分に育む。		・学年段階を踏まえ，活用スキル系統表等をもとにしながら考え，ICTを計画的に活用する。 ・深い学びのスタイルの研究。本校の実態と時代的流れを上手に組み合わせた学びのスタイルを見出す。 ・端末持ち帰り（家庭学習）のより豊かな活用方法の模索。 ・特別支援教育・通級による指導との連携による授業支援の充実。			
確かな学力1							
主体的・対話的で深い学びの充実に向け、ICT機器を活用した授業づくりに努めている。							
R5前期 40% 44% R5後期 52% 40% A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない							

確かな学力 2							
授業に有機的に結び付けられるよう、家庭学習（宿題や課題）の充実を図っている。							
R5前期							■ A：十分にできている ■ B：ほぼできている ■ C：あまりできていない ■ D：できていない
R5後期							
確かな学力 3							
★特別支援教育、通級指導の充実に努め、組織的に連携した教育を推進している。							
R5前期							■ A：十分にできている ■ B：ほぼできている ■ C：あまりできていない ■ D：できていない
R5後期							
確かな学力 4							
学校図書館を利用し、読書を通じた国語力の向上につながるよう努めている。							
R5前期							■ A：十分にできている ■ B：ほぼできている ■ C：あまりできていない ■ D：できていない
R5後期							
確かな学力 5							
JTEや専科教員、学級担任が連携し、英語科教育の充実に努めている。							
R5前期							■ A：十分にできている ■ B：ほぼできている ■ C：あまりできていない ■ D：できていない
R5後期							
確かな学力 課題・意見（前期）							
研究主任を中心にDXを取り入れた授業改善を行っている。							
授業の構造化や家庭学習の充実を図り、今後も確かな学力の充実に努めていきたい							
児童一人ひとりの確かな学力を身につけるには、TTの時間を増やしていくことも必要だと考える。							
校内研を通してICT活用の意識がとて高まった。							
1について。DXの指定を受け、昨年度より確実に使おうという意識、授業の中で効果的に使うには…と考えるようになりました。							
ICT活用で一人ひとり子どもたちに力がつくよう、同一歩調で進めていきたい。教員間での学び合い、情報共有などを大切にしていきたい。家庭学習について、授業に有機的に結び付けられる内容ではなかった。							
1年は基礎的な学習が多いので、なかなかICTを充実させるまでいけない。今後、進められるように学年で協議して行きたい。							

確かな学力 課題・意見（後期）
LDXの指定を受けたことで、ICT端末の活用がかなり前年度より発展したが、その反面、ICTの活用については、個人差がかなり出ている気がする。質を求めることも大切だが、まだまだ量をこなして活用の意義があるかどうかを判断していくとよい。
ICTについては、校内研を中心にたくさん学習することができた。学年の発達の段階における効果的な活用について更に研究していきたい。
ICT機器の活用については、日々の授業で積極的に活用し、児童が力をつけてきていることを感じる。
DXの研究を1年間取り組んでみて、ICTの授業内での活用や家庭学習での活用に積極的に行うことができた。
家庭学習振り返りカードに慣れてきた。毎日の記入、結果の配付等をしているが、個人差が大きく、取り組み方を見直すのもよいのではないかな。
校内研究に関わって、ICTを活用した授業づくりを進めることができよかった。クロムの持ち帰りで、授業に有機的に結び付けられる宿題に取り組むのに有効だった。
校内研と関わり、積極的にICTを活用することができた。
校内研で研修を実施して下さったので、よりICTを使おうという意識が高まり、昨年度より使用頻度が上がった。
一人ひとりの実態を考慮した、授業や課題設定を心がけることができたが、ICTの活用は、なかなか進めることができなかった。
施設的な問題があつてのことではあるが、学校に必要な特別教室の設置や変わりゆく教育内容に対応出来る教室サイズや機能、人的確保や各職種人材の働き方への支援など、任命権者や設置者での改善を望みます。

令和5年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案						豊かな心・望ましい集団	
分析・立案担当：		米倉 武井 三枝 丸山 柳澤 大村 中村依 中村悦					
良い点							
・愛情と信頼に基づいた生徒指導に努めた結果、児童に対して共感的理解のある指導ができている割合が高い。 ・体験的活動もほぼ制限なくできるようになり、思いやりの心や公德心など育む道德教育に充実を図ることができている。 ・縦割り班活動、無言清掃などの取り組みから、5の肯定的割合が非常に高い。 ・児童会の挨拶フラワーなどの挨拶への継続的な取組により6の肯定的割合も増えている。							
課題点		改善策			取り組み		
・全体的に高い水準で推移しているが、学級力向上プロジェクトや学級力アンケートに関しての項目がやや低い傾向にあるので取り組む必要がある。		・学級力アンケートや学級力向上プロジェクトにどの学級も取り組めるような働きかけをする。 ・学校の教育活動全体を通して、あいさつについて継続して取り組む。			・学級力向上週間などを設けることができるなら、どの学年・学級も学級力向上に取り組む期間を作っていく。 ・児童会活動・委員会活動を利用してあいさつへの取り組みを継続していく。		
以下は後期自己評価後に記入							
成果		課題点			次年度の方向性（案）		
・コロナが5類に移行し、児童会活動や学校行事が少しずつ活発になってきたことで、マスクを外しての活動が増えた。素顔でのふれあいが多くなり、いきいきと活動する姿がよく見られた。 ・あいさつや基本的な生活習慣においても積極的に取り組む姿が多くなった。		・児童の様子から、コロナ禍を過ごしてきた子どもたちの中には、課題を抱える児童もいる。心のケアや支援が必要な場合もある。 ・あいさつは個人差があるので、気持ちのよいあいさつの声かけは継続して行う必要がある。			・コロナ禍での「失われた3年」を取り戻すための、子どもたちへの心のケアや支援を考えていきたい。 ・学校行事や児童会活動の中で、豊かな心を育めるような働きかけをしていきたい。		
豊かな心・望ましい集団1							
いじめ防止基本方針を理解し、それに基づいた取り組みを推進している。							
R5前期 60% 40% 0% R5後期 64% 36% 0% A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない							



豊かな心・望ましい集団 7									
学級力向上アンケートを活用し、望ましい学級集団・学習集団の形成に努めている。									
R5前期									
R5後期									
豊かな心・望ましい集団 課題・意見（前期）									
児童会を中心に挨拶の意識付けができています。									
今後も様々な体験を通して建設的な集団づくりを目指していきたい									
教職員自身が言葉づかい、挨拶を大切にしていきたい。									
児童会での挨拶フラワーや無言清掃の取り組みを活用させてもらっている。									
チーム学年・学校として、一貫した指導をする必要があるが、職員が同じ意識をもって指導にあたることができたのではないかと思います。									
豊かな心・望ましい集団 課題・意見（後期）									
学級だけでなく、児童会でもあいさつ運動を推進してくれているが、声が小さかったり進んで挨拶できなかったりという児童が見られる。継続して取り組みが必要。									
子どもだけではなく、教職員自身も言葉づかいを大切にする意識を高めていきたい。									
学級力向上プロジェクトは、それぞれに任されていたが、研究の土台となるものでもあるので、取り組みの様子を交流する機会があってもよかった。児童会でもあいさつ運動に取り組んでいたが、全校で気持ちのよいあいさつができるように、もっと取り組んでいきたい。									
教育課程の編成、働き方改革等を踏まえ、目的をもった無理のない行事が行えるとよい。									
コロナが落ち着き、様々な教育活動がコロナ前に戻ってきて児童にとっては良いことだと感じる。ただ、教育課程を精査し、児童にとって本当に学びのある体験活動を実施していきたい。									
児童の一番近い位置である担任が、日々の状態をしっかりと把握していることと思います。そのためにも悩みを一人で抱えることなく、職場の仲間との共有ができるような職場環境が継続されると良いと思います。									
ICTの活用に重点を置いているため、学級力の方はあまり有効に活用できていない。									
改正された生徒指導提要进行を職員間で周知し、3回の生活アンケートや日々の生活の中で子どもたちの様子を細やかに把握することができたと思う。									

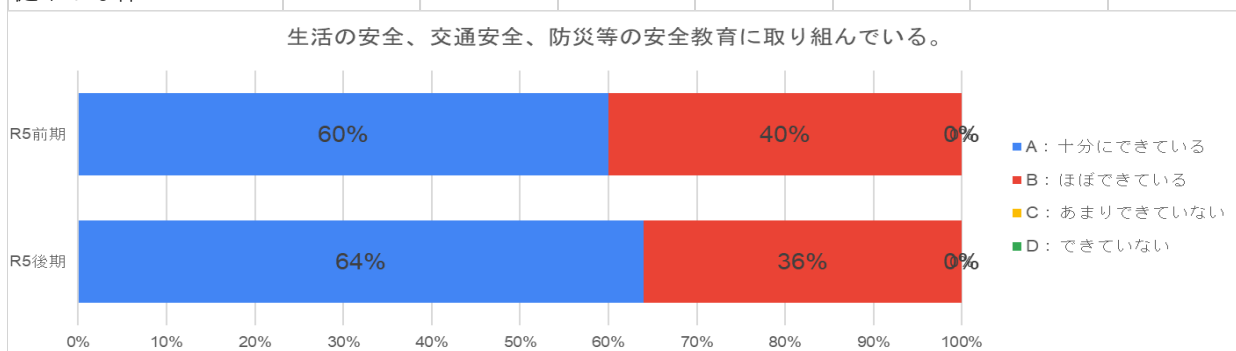
令和5年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案						健やかな体	
分析・立案担当：萩原 関口 佐藤 吉田							

良い点		
・安全教育については、生活指導や交通安全の担当を中心に十分行うことができた。 ・登校班の課題についても、臨機応変に対応することができた。 ・チャレンジタイムを継続的に実施することができ、楽しみながら体力の向上を図ることができている。		
課題点	改善策	取り組み
・家庭との連携による基本的な生活習慣の育成をさらに図っていく必要がある。 ・運動をする児童、しない児童の二極化への対応。	・家庭と連携が図れるように、呼びかけや情報提供に努める。 ・学年やクラス単位で体づくりの活動に取り組み、多様な動きを経験する。 ・全校でいろいろな運動に親しみ、児童の運動への意欲とする。	・学校からの便りやchrome上の資料を通じて呼びかけや情報提供に努める。 ・体育の授業で体づくりの運動に取り組む。（毎時間） ・チャレンジタイムにおいて、全校で様々な運動に取り組む。

以下は後期自己評価後に記入

成果	課題点	次年度の方向性（案）
・新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、チャレンジタイムを1年間通して運営したり、運動会で種目数を増やしたりするなど、児童の体力向上にむけた活動を多く取り入れることができた。 ・防災訓練などを通して、自分の身の安全を守るための学びを児童が得ることができた。	・運動に対して苦手意識をもっていたり、休み時間に校内で過ごしたりする児童が体を動かす喜びを知ることのできる機会をつくりたい。 ・家庭との連携が密にして、協力を得ることを大切にしていきたい。	・今年度、取り組むことのできた活動を継続して行うとともに、児童の体力を高めるための効果的な取り組みを模索していきたい。 ・様々な災害で、いかなる場面においても自分の身の安全を守ることができるよう、引き続き避難訓練や日常での防災指導に取り組んでいく。

健やかな体 1



健やかな体 2									
家庭との連携による基本的な生活習慣の育成に努めている。									
R5前期	36%				64%				0%
R5後期	40%				60%				0%
A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない									
健やかな体 3									
楽しみながら自ら体を鍛える組織的な「健康・体力づくり」に取り組んでいる。									
R5前期	36%				64%				0%
R後期	40%				56%				4%
A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない									
健やかな体 課題・意見（前期）									
チャレンジタイムが定期的開催され、体力向上に繋がっている。									
チャレンジタイムを継続し、週に1度体を動かす機会を作るようにする。									
1年生の子どもたちの体力不足が心配である。特に暑さに弱い子が増えてきている。									
コロナが5類に移行されて、体育の授業も戻りつつあるが、まだ制限が全くなかったわけではなく、配慮していかなければならない点が多岐にわたる。児童の健康安全と体力向上とを考えながら今後も指導していきたい。									
3について。朝のチャレンジタイム、コロナが5類になり体力の向上のために効果的なのはわかります。体育主任のご苦労も体育委員会のがんばりもととてもよくわかります。ただ、朝の健康観察や連絡帳チェックを追い立てられるように行い、子どもたちの顔をよく見る間も無く外に行かなくてはならないという時間設定に無理があるように感じています。健康観察が十分にできなかったがために事故や怪我につながらないようにしてはならないと感じています。									
コロナが5類に移行されて、体育の授業も戻りつつあるが、まだ制限が全くなかったわけではなく、配慮していかなければならない点が多岐にわたる。児童の健康安全と体力向上とを考えながら今後も指導していきたい。									
最近の状況から、避難訓練の回数をもう少し増やしていきたい。									
健やかな体 課題・意見（後期）									
火災報知器の誤報の際に思ったが、火災の際に廊下とかにいるときの対応について確認をしておく必要があると感じた。担任がいない教室に残った児童で机の下に隠れている子もいたが、火災の際は放送が入るまで教室にいない時や大人がいない教室にいるときにどうしていれば良いのか。									
家庭での過ごし方が気になる。ゲームや動画視聴などかなりの時間を使っていて、家庭でのルールも守られていない様子が見えたりする。家庭との連携も必要。									
運動会やマラソン大会、火曜日朝のチャレンジタイムにおいて、体力の増進や健康に生活することの大切さを意識しながら指導ができた。									
地震が多いので、訓練の回数を増やすなど、緊急時に備える必要がある。									
朝体育は、時間的には厳しいところもあるが、子どもたちの体力づくりのことを考えると、いろいろと考えてやってくださりよい機会となっていた。									
それぞれの保護者に考え方の相違はあっても、健やかな育成について学校と家庭のそれぞれの役割を再確認しながら取り組んでいきたい。									
生活習慣等について、保護者への連絡や報告をもっと迅速に行うべき場面がいくつかあったため、改善していきたい。									

令和5年度学校評価（前期自己評価）結果の分析・改善案の立案						地域・社会に開かれた学校									
分析・立案担当：校長 教頭 飯室 各学年主任															
良い点															
自転車教室等の活動を保護者のボランティアの協力を得る中で実施することができた。 エコース学習に向け、乙女高原ファンクラブの方などの協力を得ることができた。															
課題点		改善策			取り組み										
さらに保護者、地域の方、CS委員の方に学校に来ていただく機会を設定し、地域に学校を開いていくという姿勢を示す。		少しでも学校に来ていただく機会を設ける。また、学校の様子を伝えるお便りを配布する。			奉仕作業、運動会、マラソン大会など、可能な範囲で地域・保護者に来校してもらい、様子を見てもらう。										
・学年行事、エコース学習、奉仕活動などの活動を、大勢の方の協力を得る中で実施を図っていく。		・PTA学年部の取組を年間の活動を見通した中で組み込んでいく。 ・地域人材の発掘を行っていく。			・学年の学習活動に保護者の援助や参観可能なものを位置づけ、できる限り取り入れていく。 ・CS委員に地域人材を紹介してもらう。										
成果		課題点			次年度の方向性（案）										
学校運営協議会（CS）の活動も3年目となり、職員には学校運営協議会の資料を配布するなどして周知を行い、CSに対する理解が進められた。 ・CSの取組として、地域見守り活動も継続して取り組みを行うことができた。 ・コロナ5類移行に伴って、自転車教室やマラソン大会等で保護者やPTA役員のボランティアの方にも大勢協力していただく中で、安全に行事を行うことができた。 ・ECHOES学習の導入に伴い、地域の方に協力していただく中で学習を進めることができた。		・地域の人的・物的資源の洗い出し。 ・地域人材のニーズの確認。 ・奉仕作業等への保護者の協力意識。 ・学校における教育活動の発信力。			・PTA活動ともリンクさせた地域人材を活用する活動の教育課程での位置づけを適切に行う。 ・保護者を主体的・積極的に巻き込むPTA活動の推進。 ・いきいき教育地域人材活動推進事業の継続的な活用。 ・ECHOES学習推進のために地域人材を積極的に活用していく。 ・学校発文書のデジタル化の推進										
地域・社会に開かれた学校1															
地域や保護者の学校教育参画のため、学校運営協議会の理解を深め活動が充実するよう努めている。															
R5前期	<table><tr><td>A</td><td>40%</td></tr><tr><td>B</td><td>52%</td></tr><tr><td>C</td><td>8%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></table>							A	40%	B	52%	C	8%	D	0%
A	40%														
B	52%														
C	8%														
D	0%														
R5後期	<table><tr><td>A</td><td>40%</td></tr><tr><td>B</td><td>56%</td></tr><tr><td>C</td><td>4%</td></tr><tr><td>D</td><td>0%</td></tr></table>							A	40%	B	56%	C	4%	D	0%
A	40%														
B	56%														
C	4%														
D	0%														
A：十分にできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：できていない															

地域・社会に開かれた学校 2									
地域人材を生かした教育の推進に努めている。									
R5前期	28% 64% 4% 4%								
R5後期	12% 68% 20% 0%								
地域・社会に開かれた学校 3									
地域や保護者に学校の教育活動について発信するように努めている。									
R5前期	44% 56% 0% 0%								
R5後期	36% 64% 0% 0%								
地域・社会に開かれた学校 4									
安心安全な学校・地域を目指し、地域・保護者との連携に努めている。									
R5前期	40% 60% 0% 0%								
R5後期	40% 60% 0% 0%								
地域・社会に開かれた学校 課題・意見（前期）									
コロナが5類になったことで、保護者が学校に参画しやすい体制ができつつある。									
地域の中で子供たちが育てられているという安心感が得られるような連携をとっていきたい。									
地域の人と交流する機会を増やす。									
コロナ対応が解除されてきているので、今後地域人材の活用を進めていきたい。									
地域・社会に開かれた学校 課題・意見（後期）									
電話連絡を18時までとしたが、その時間では連絡がつかないご家庭もあるので、困っている。									
コロナが5類から移行した所なので、地域人材との連携など深めていければと思います。									
無理のない範囲で計画的に進めるべきだと感じる。									
地域人材の活用は、児童が自分の地域に愛着を持つ上で必要なことではあるが、来年度は授業時数が大幅に減るので、よく吟味し活用方法を探っていきたい。									
地域人材の活用については、有効に行うことができていない。教育課程の時数がぎりぎり設定されている中で、日程を調整し新たなものを入れていくのは難しい。									
この制度自体がまだまだ確立されたものではなく、一人の職員が専任で行う業務としては、大変なことである。									

1 学期の活動全体を通しての意見等						
コロナが5類になったことで、全てが元通りになってしまうことに不安があります。戻すべきことと、コロナの頃のままで良いことを見極めながら2学期以降を進めていきたい。 職員間の連携を第一に、見通しをもった計画・実施を継続していきたい 新型コロナウイルス感染症5類になったこともあり、全校児童で集まる機会が多くなり、児童たちも以前よりも安心して学校生活を起ることができていると思う。今後も児童たちや教職員全員が一丸となって学校をより良くしていきたいと思う。 人員が足りない中、それぞれの立場で協力して行っていると思う。ただ今後も加配が望まれる。 大変忙しく、子どもたちや保護者に十分寄り添えたか心配である。また、ICTも含め、教材研究を十分にしている時間が取れなかったのが残念である。 縦割り活動など、異学年の交流が再開され、子どもたちの成長にプラスとなっている。スタートカリキュラムも大変、貴重な時間であった。 教務・管理職の先生方にも支援に入っただき、大変ありがたかったです。ただ、人員不足で、子どもたちへの指導・支援が十分に出来ないことが多々ありました。是非、引き続き人員確保に努めていただきたいと思います。 大変な1学期でしたが、笑顔を忘れずにみんなで協力してなんとか乗り越えることができたのではないかと、先生方に感謝の気持ちでいっぱいです 予想しない出来事にも職員が協力連携して対応しており、団結力を感じた。ただDX事業などさらに多忙化している部分も多く、職員の心身の健康への心配が常にあった。 欠員が出ている中、他の学校では4月以降に人員が増えたという話を耳にします。一刻も早くうちの学校にも来ていただきたいです。 学校行事が戻りつつあるが、コロナ禍での良かった点を配慮し、働き方改革も考え、新しい学校の在り方や学校行事を考えていく必要があると改めて感じた。 この4ヶ月間は初めてのことばかりで戸惑いが多かったが、自分の想像以上に学校現場が組織的に動き、様々な活動が意図的に行われていることに驚いた。それぞれの活動についていくのが必死だった部分があるが、今後は、その活動の意図を考えながら、自分なりに工夫して行動していきたいと感じている。						
1 年間の活動全体を通しての意見等						
いつも様々な点において配慮・フォローしていただきありがとうございます。組織対応ができているため、安心して児童の対応にあたることができました。 教職員が目標に向けて、連携して協働体制が取られている。 わからないことや悩みをどの先生方にも相談できるような環境があることにとても感謝している。私自身、子どもとより良い関わりができるように、また、適切な教育ができるように、日々意識して過ごすことができていると思う。しかし、具体的な目的や目標が明確でないまま、なんとなく行っている活動もあるため、今後はより、意識して取り組んでいきたい。 次年度の時程について教務主任がかなり考えて作成をしてくださり、働き方改革への歩みをすすめられていると感じた。合わせて、今後児童の登校時刻についても検討していくべきであるかと思う(出勤時間よりかなり前に児童が登校しているのが良いのか)。18時以降に電話に出なくてよいのもよかったと思う。 来年度は時間数も減らしていくので、時間も内容も含めて行事の精選が必要。 コロナ5類移行後、少しずつコロナ前に戻りつつあったが、その都度皆で考えながらいいやり方を選択してきたように思う。働き方改革等を含め、今後も検討して取り組んでいきたい。 さまざまなことがあった1年間でしたが、報・連・相をいつも意識して生活をしてきました。臨機応変に対応することの難しさを感じながら、どんな判断をすることが最善なのかそれぞれが考えながら行動できたのではないかと思います。 LDX事業によって、ICTを利用した授業づくりや働き方改革が大きく進んだ1年だったと思います。主対深の実現に向け、今年学校で成果として挙げられたものをさらに伸ばし、来年度の学校運営に生かしていければと思います。 組織に関係する事柄・情報がある一定の箇所所で決定されたり、情報が十分に共有されていなかったことがあった 学校全体に関わることで、一部の先生方で決まり、全体で確認されなかったり、理由が説明されなかったりすることがあり、混乱してしまうことがあった。どの先生方も忙しく、全体で共有することが難しいこともあるが、やはり、大切なことは共有していただけたとありがたい。 個人的な関係があるので、仕方ない部分はあるが、特定の教員とばかり親密に話をしているのを見かけることがある。他の教員から見えない部分であればいいが、見える部分が大きく気になる人も多いのではないかと。学校全体に関わることで、全体に図られず、進んでいることがある。 ひとりひとりが、課題を意識して、常に改善に取り組む姿勢が重要である。						

令和5年度 日下部小学校の教育 保護者アンケートの結果

☐実施日及び方法

令和6年1月29日～2月2日（2月16日まで実施期間追加）

フォームによる回答

☐回答数

項目1～4番（児童についてのアンケート）児童数で実施：277名（回答率 79.6%）

項目5～18番（学校についてのアンケート）家庭数で実施：200名（回答率 73.5%）

☐アンケート結果の表記について

○各項目のグラフは、パーセントで表示されています。

○児童アンケートも関連項目とともに併記し、比較検討しました。

○自由記述によるご意見について

個人情報に関わる内容に配慮した上で、できるだけ原文の趣旨が損なわれないようにし、全家庭 配付に配慮した表現にさせていただき、また、同じ内容のご意見はまとめて載せさせていただきました。

☐アンケート結果から

全ての項目で、（「そう思う」「ややそう思う」）が半数以上となる肯定的な評価をいただきました。課題となる評価（「あまり思わない」「思わない」）については、わずかな割合であっても、自由記述欄へのご意見と合わせ、改善に向けた取組を進めていきたいと思えます。アンケート結果から読み取れた課題について、学校教育目標に関連付け、次頁以降のように今後の取組の概要を示しました。

令和5年度日下部小学校 児童アンケートの結果（全校）

☐実施日及び方法

令和6年1月17日（水）～22日（月）

フォームによる回答

☐アンケート結果の表記について

円グラフで表記。

〈結果を受けての今後の取組の概要〉

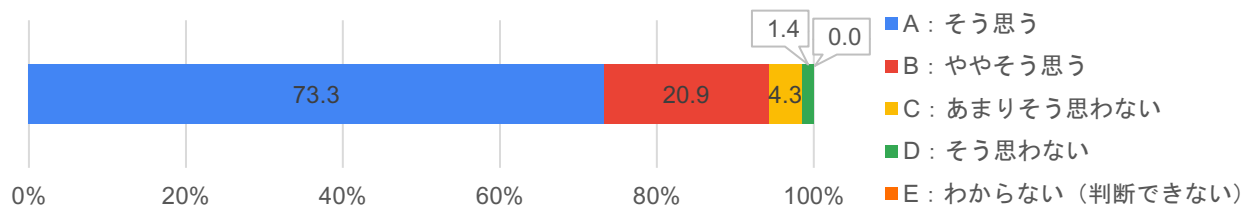
学校教育目標

『自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成』

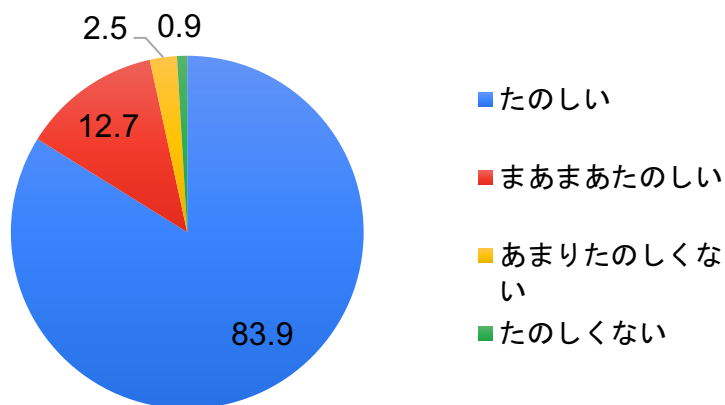
〈アンケート結果 帯グラフは保護者 円グラフは児童〉

学校経営・組織に関わって 保護者項目：①⑤⑥ 児童項目：①②

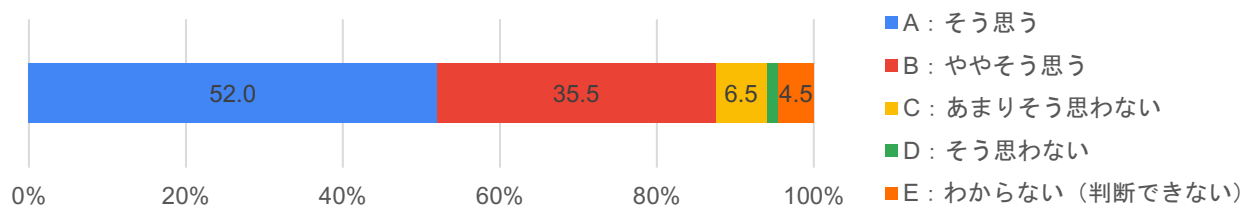
①お子さんは、楽しく学校に通っていますか。



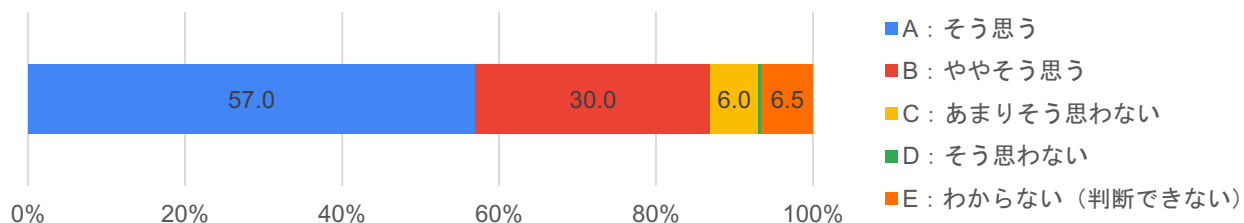
①あなたは楽しく学校に通っていますか。



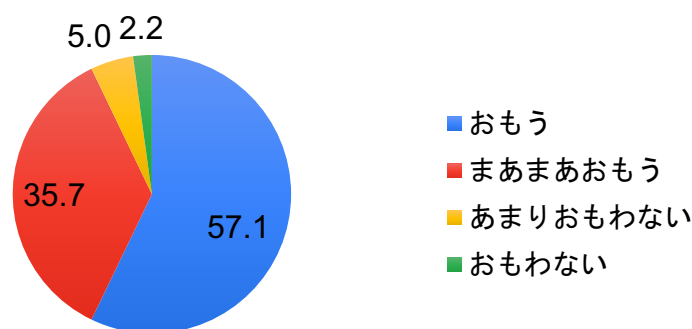
⑤学校は、自ら考え、進んで学習する子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。



⑥学校は、防災防犯などの危機管理に努め、自ら命を守る子どもの育成を目指した教育をしていると思いますか。



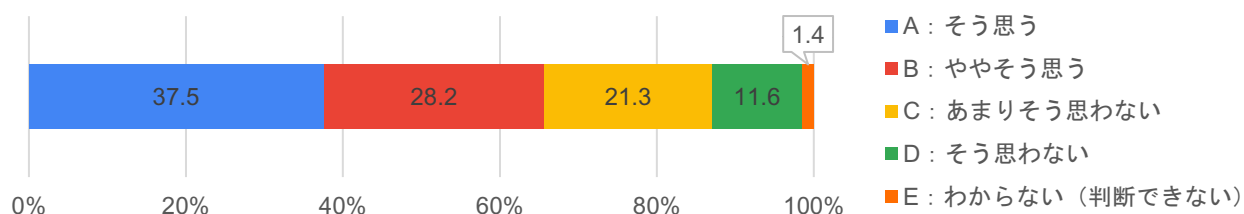
②あなたは地震が起きた時や不審者にあった時に、正しく行動できると思いますか。



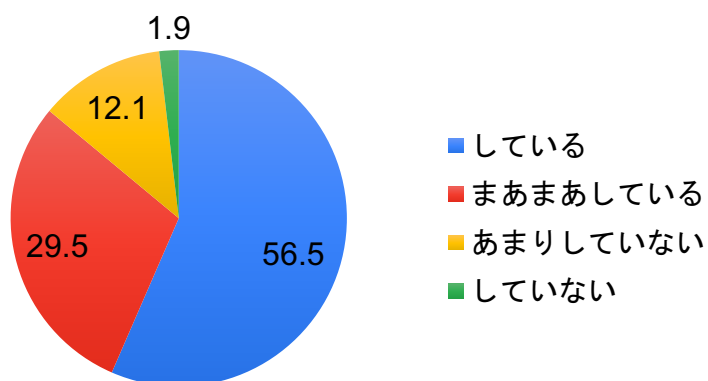
どの項目も肯定的な評価が85%を超える結果となっています。全体として、グランドデザインに則り学校教育目標達成に向けて前進しているということができると思われます。しかも、保護者も児童も「学校が楽しい」の項目では90%を超える高い数値で前進できているのは、グランドデザインそのものが本校に適したものであるということができると思われます。今後も、児童の共感的理解に努め、愛情と信頼に基づく教育活動に努め行きたいと思います。今年度は、地震や火災を想定した避難訓練を4回、さらに引き渡し訓練やシェイクアウト訓練、防犯訓練を昨年度の反省を生かしながら実施しました。しかし、昨今、様々な自然災害が発生しています。いかなる場合でも、災害に際しまず「自分の命は自分で守る」ことができるよう、これからも様々な場面を想定した避難訓練等を行っていききたいと思います。今後も学校目標達成に向けて、力強く歩みを進めて参ります。

確かな学力に関わって 保護者項目：②③⑦⑧ 児童項目：③④⑤

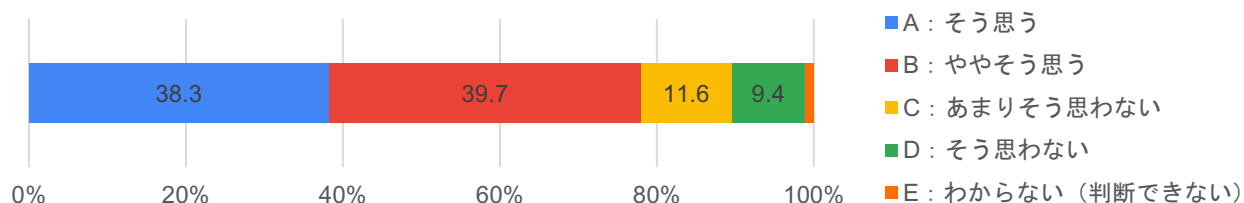
②お子さんは、すすんで読書をしていますか。



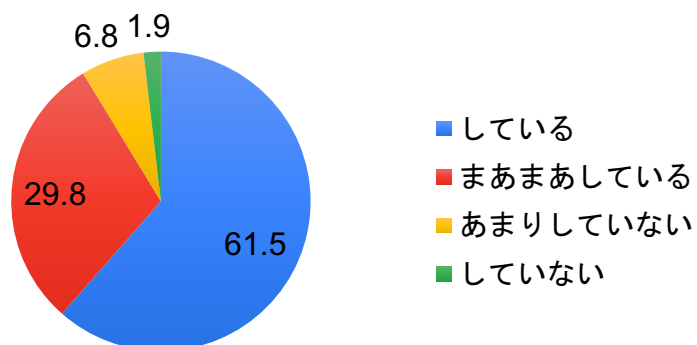
③あなたは読書をしていますか。



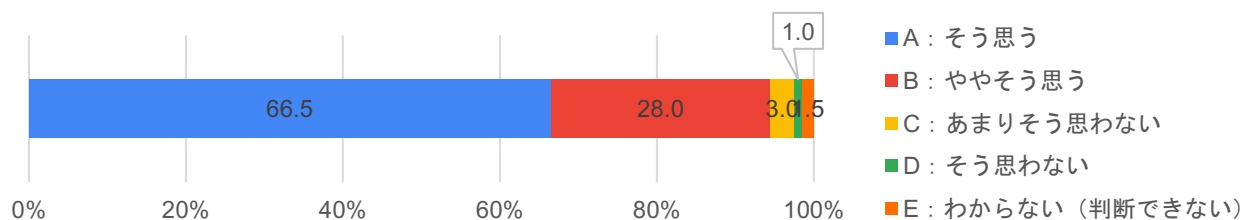
③お子さんは、家庭学習（宿題・10分読書・自主学習）に進んで取り組んでいますか。



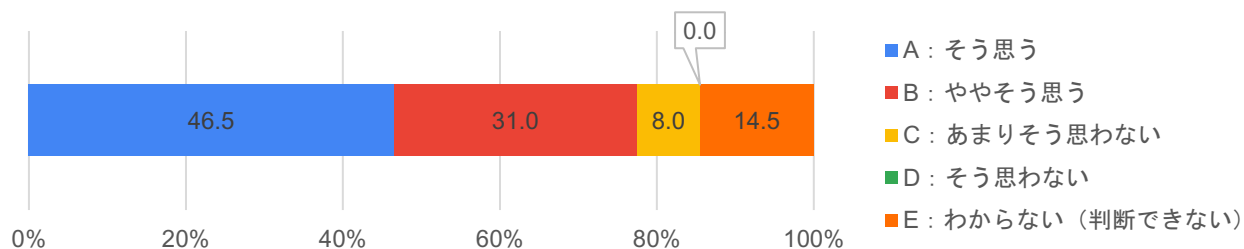
④あなたは家庭学習(宿題・10分読書・自主学習)をしていますか。



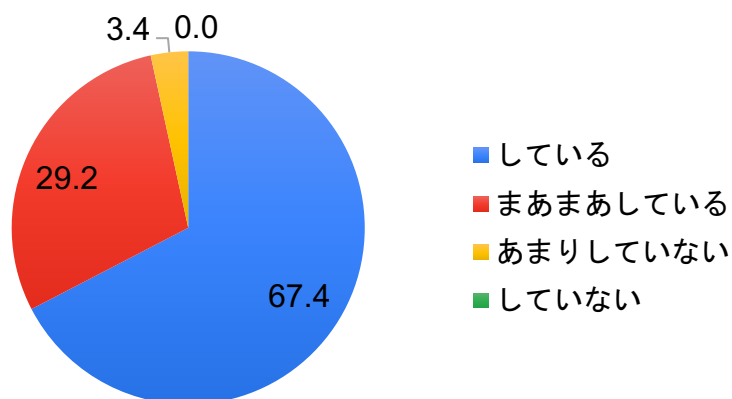
⑦学校は、積極的にICT機器の活用を進め、確かな学力の育成に努めていると思いますか。



⑧学校は、個に応じた教育の充実のため、職員同士が連携して教育を進めていると思いますか。



⑤あなたは授業で、自分で考えたり、進んで学習に取り組んだりしていますか。

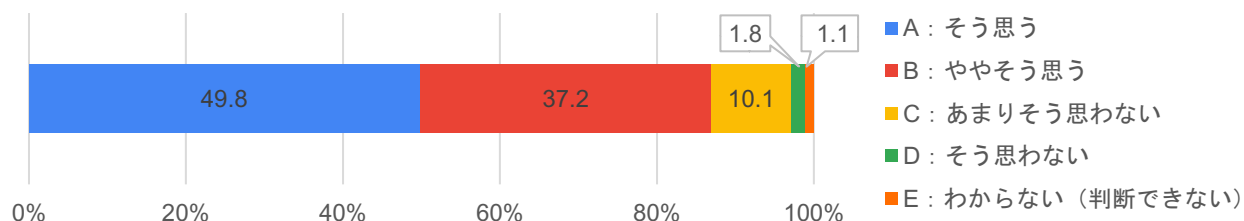


どの項目についても保護者は 65%以上、児童については 85%以上の肯定的な評価となっています。特に⑦の ICT 機器の活用については、昨年度より肯定的な評価が大幅に増えています。本校は本年度、文部科学省よりリーディングDX事業の指定を受け、授業、家庭での ICT 機器の積極的な活用を進めていて、その成果が出ていると思います。また、個に応じた教育の充実のため職員同士が連携して日々の学習を進めている成果が見て取れます。家庭学習の習慣の確実な定着のために、今後も様々な取り組みを家庭と連携しながら進めていきたいと思っています。

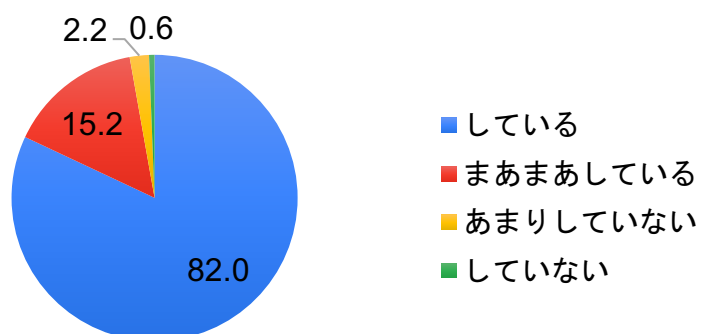
豊かな心・望ましい集団に関わって

保護者項目：④⑨⑩⑪⑬ 児童項目：⑥⑦⑧⑨

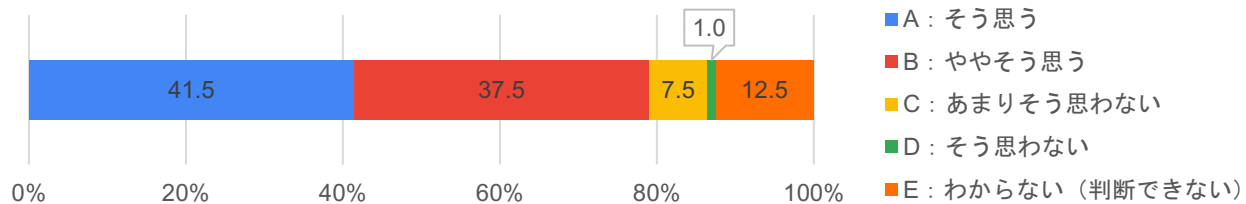
④お子さんは、あいさつや返事などがしっかりできますか。



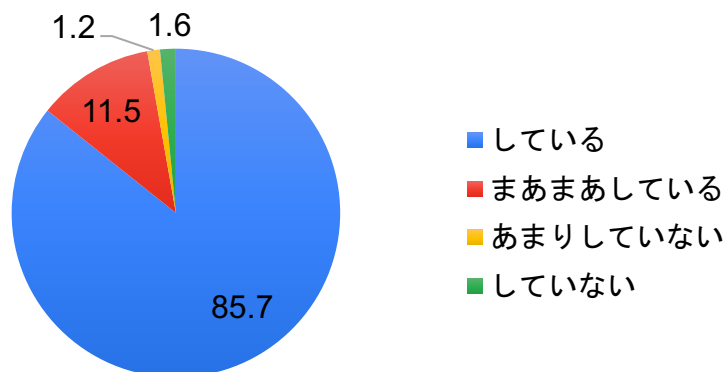
⑥あなたはあいさつや返事をしっかりしていますか。



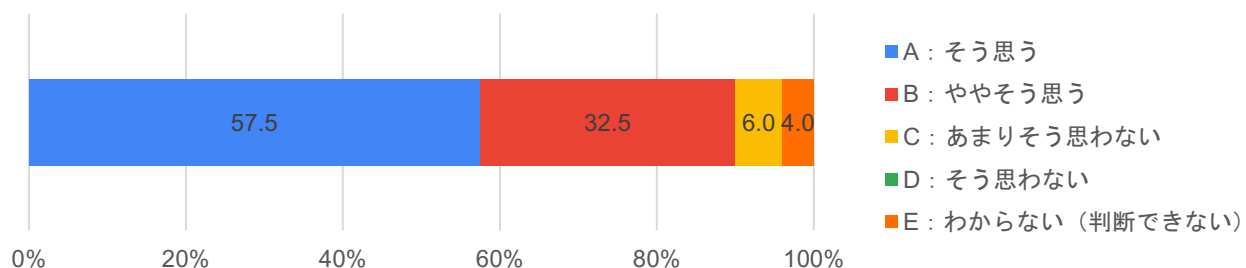
⑨学校は、いじめの早期発見に努め、いじめをなくすための指導に努めていると思いますか。



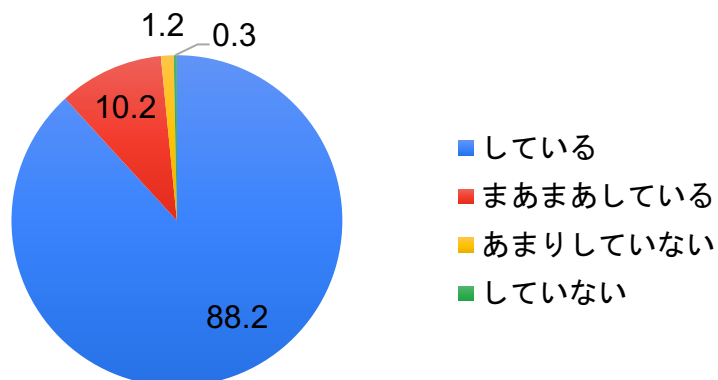
⑦あなたはいじめをせず、友だちと協力したり、仲良くしたりしていますか。



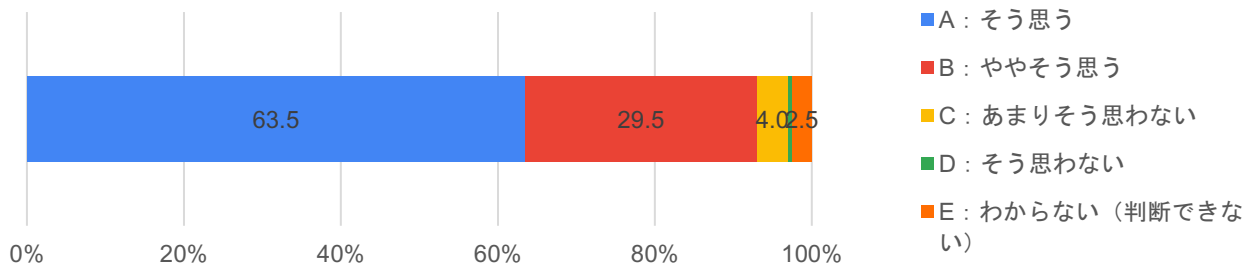
⑩学校は、思いやりの心や公德心を育む道德教育の充実に努めていると思いますか。



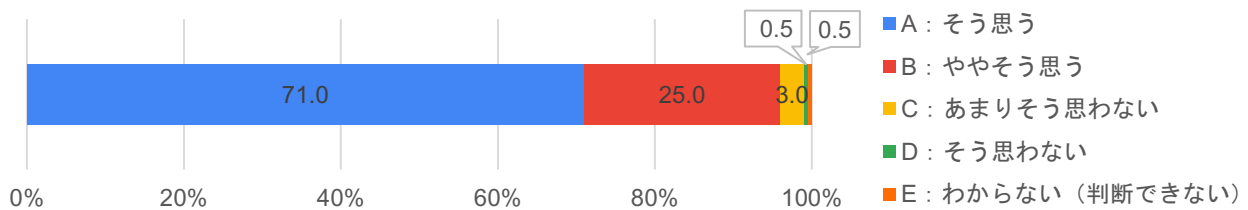
⑧あなたは交通ルールや、学校の決まりを守るようにしていますか。



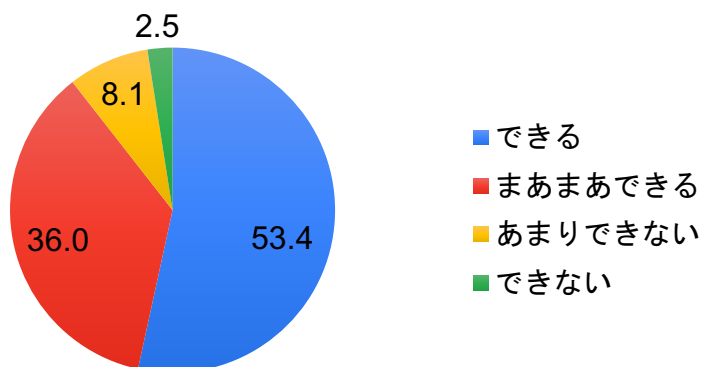
⑪学校は、様々な体験活動を通して、自主性や社会性、協調性を育む教育に努めていると思いますか。



⑫子どもの生活や学習のことで、学校や担任の先生に気軽に相談ができますか。



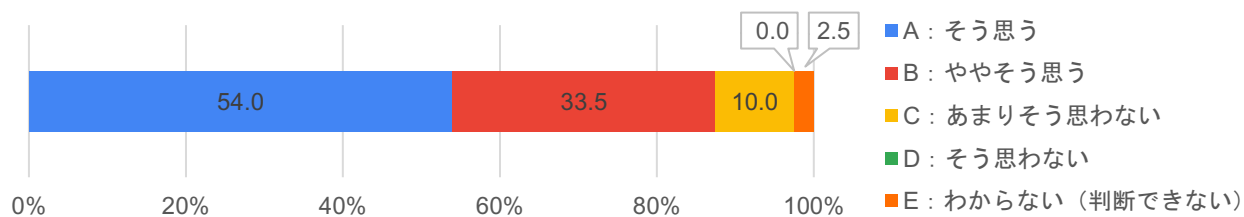
⑨あなたは生活や学習のことで、担任の先生や学校の先生方に、気軽に相談できますか。



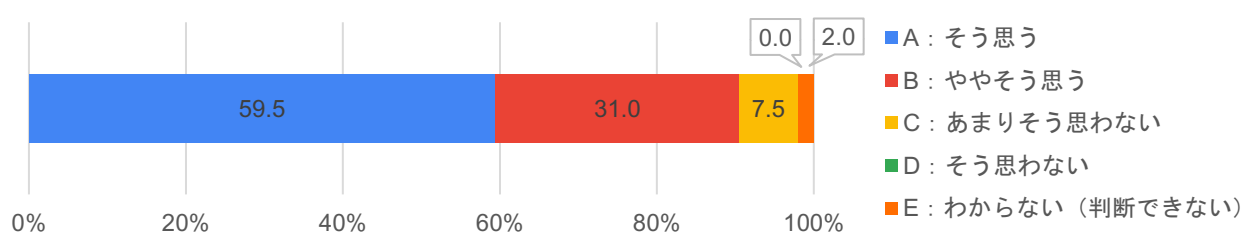
どの項目についても、保護者は70～80%以上、児童については80～90%以上の肯定的な評価となっています。特に保護者の項目⑫については、他の項目と比べ最も「そう思う」の割合が高く、昨年度よりも増えています。家庭と学校が全体として良好な関係を築くことができていることが分かります。児童を中心とした家庭と学校の両輪で児童の確かな成長につながります。職員間での情報共有を適切に行いながら、今後も保護者の皆さんが気軽に相談できるように努めて参ります。一方で、児童の項目⑨は他の項目に比べ「できる」の割合が低くなっています。担任だけでなく、学校の職員すべてが児童の先生であるという姿勢を持ち、カウンセリングマインドを大切にしつつ、児童に関わっていきたいと思います。また、児童の⑥も昨年度よりも「そう思う」の割合が増え、高くなっています。児童会を中心に校内だけでなく、地域の方々にも進んであいさつをしようという「あいさつ運動」の成果が出ていると思います。今後も、気持ちよいあいさつができる日下部小児童を目指していきたいと思います。

健やかな体に関わって 保護者項目：⑪⑫ 児童項目：⑩

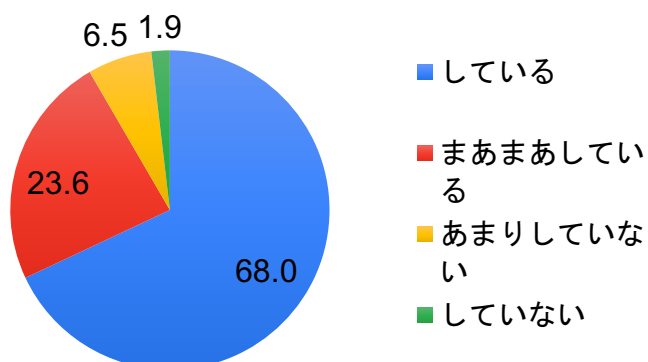
⑫学校は、家庭と連携を取りながら、基本的な生活習慣の育成に努めていると思いますか。



⑬学校は、児童が楽しみながら健康・体力づくりに励むよう取り組んでいると思いますか。

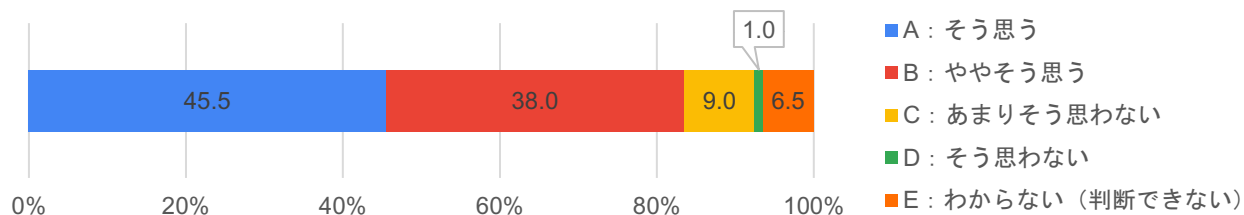


⑩あなたは進んで運動したり、外で遊んだりしていますか。

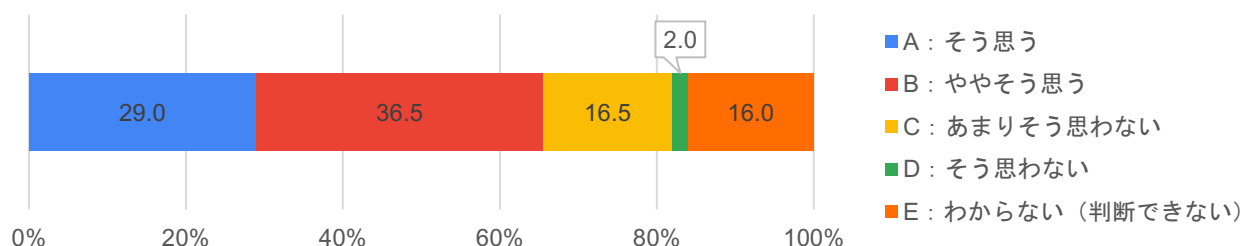


どの項目についても、児童、保護者ともに 85%以上の肯定的な評価となりました。コロナも 5 類に移行となり、制限がなく様々な活動を行うことができるようになっていきます。毎週火曜日にはチャレンジタイムで楽しみながら体力アップができる取り組みを続けていきます。マラソン大会も大勢の保護者の協力のもと無事開催することができ、昨年度よりも体力が向上している様子が見え始めました。運動会も併せて体育的な行事への参観ができたり、当日までに家庭でも自発的に練習する児童の姿をご覧になったりした保護者が多かったのではないかと思います。将来にわたる健康的な体を育む上で、子どもの頃の運動や体を使った遊びはとても重要です。これからも、家庭でも運動や外遊びの推進にご協力ください。

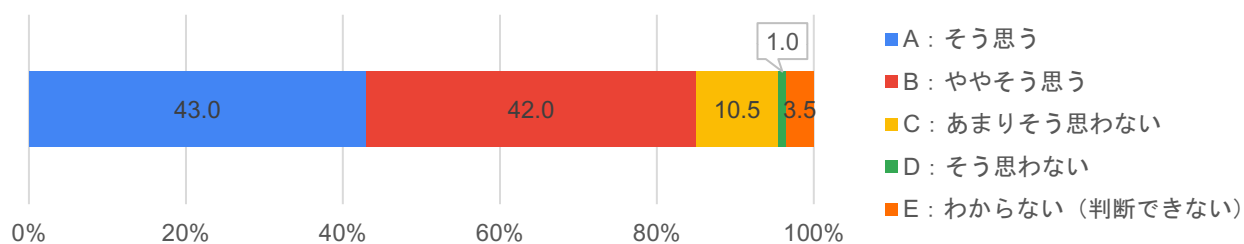
⑭学校は、地域や保護者が学校教育へ積極的に参加するよう推進していると思いますか。



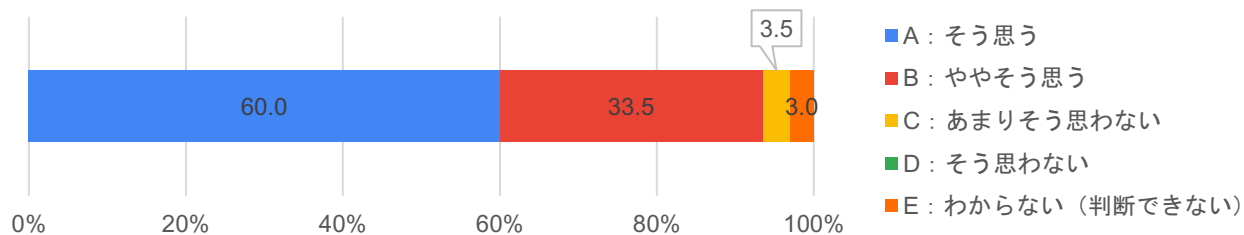
⑮学校は、地域の人材等を生かした教育の推進に努めていると思いますか。

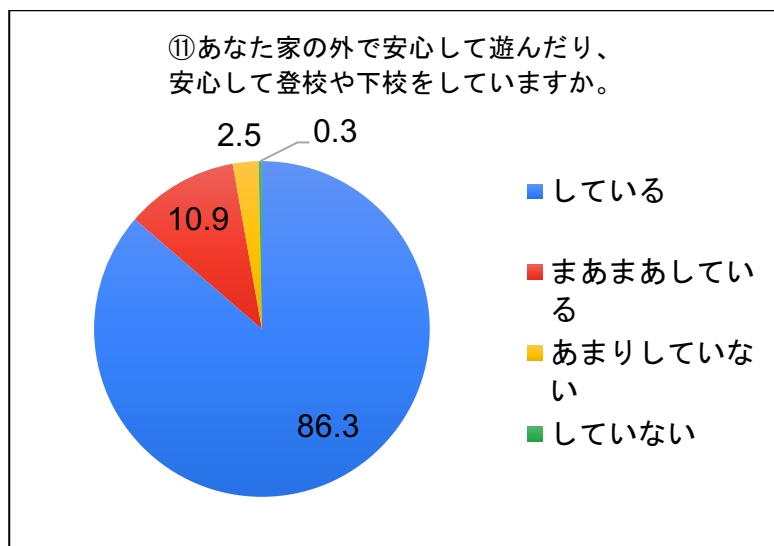


⑯学校は、学校での取組を積極的に家庭や地域に発信していると思いますか。



⑰学校は、児童の安心、安全の確保のために、家庭や地域との連携に努めていると思いますか。





どの項目についても、児童、保護者ともに 60%以上の肯定的な評価となりました。コロナの 5 類移行に伴い、授業参観や学校開放日なども計画的に行うことができ、保護者の皆さんが来校する機会が以前より増えたことが影響していると思います。学校運営協議会の活動として、ながら見守り活動への継続的な協力を地域にお願いしました。こうした地域への働きかけがあったことも、児童の項目⑪の結果からわかるように、地域で児童が安心して過ごすことができていることにつながっているのではと思います。一方で、保護者の項目⑮については、「わからない」が非常に多い結果となりました。多くの学年で地域人材を活用した授業等を行っているのですが、⑯の「あまりそう思わない」の結果と関連があるのではと思います。今後も地域の人材を積極的に教育活動に活かしていくとともに、保護者の皆様にも、自転車教室などの各学年の活動等に積極的にボランティアとして関わっていただけるような取り組みもしていきたいと思います。必要な内容については、さらに積極的に情報発信していくことで、地域・保護者とともにより良く児童の育成が計られるよう、地域・社会に開かれた学校の推進に努めて参ります。

その他、自由記述では、これまでの本校の教育に対し、多くの励ましのお言葉をいただきました。職員が一丸となり、知恵と工夫を絞って日下部小児童の学びを前進させたことを評価していただきました。これからも、全力で本校教育の充実に向けて取り組んで参ります。一方で、課題点も挙げていただきました。改善すべき点は改善に努め、学校と保護者の連携をさらに高めていく中で、児童一人一人の豊かな学校生活をより確かなものにしていきたいと思っています。

自由記述

- ・個別にも対応していただきいつもありがとうございます。
- ・安心して通わせることができています。
- ・先生達が子供達をよく見てくれていてありがたいです。
- ・日頃丁寧な教育ありがとうございます。
- ・いつもご尽力いただき、ありがとうございます。
- ・様々な工夫によって、これからの社会に必要な教育の取り組みを積極的に行っていることに感謝しております。
- ・いつも子どもたちの様子をよく見ていただいています。一人ひとりの困り感も見逃さず、気づいて指導して頂いたり、家庭にもその様子を伝えて頂いたり、本当にありがたいです。
- ・クラスと支援級の担任の先生が熱心に関わってくださるので安心してお願いできています。相談もしやすく、すぐに対応してくださるのでありがたいです。

- ・いつも子どもがお世話になっております。ありがとうございます。子どもが楽しく学校生活を送ることができるようにこれからも頑張りたいと思います。
- ・先生方が丁寧にご指導をしてくださっているおかげで、子どもたちが毎日楽しく元気に学校に通うことができます。ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。
- ・理科や音楽を専科の先生に教えていただき、とても楽しくわかりやすい授業をうけているようで感謝しています。特に理科は、毎回授業の後に様子を話してくれるほど楽しいようです。学習端末の使い方については、再考をお願いします。毎日家庭に持ち帰っていますが、デジタル教科書なども入っていないので、あまり必要性を感じません。学習に必要な場合のみ使用する形でいいのではないかと思います。
- ・いつもお世話になっております。担任の先生には普段から熱心にご指導等頂き感謝しております。これからも魅力ある学校づくりに期待しております。
- ・食や地域の伝統に関する教育も積極的に勧めてほしい。
- ・小学校全体に感じるのですが、もっと地域と関わりを持つような活動があると良いと思います。街全体での子育て・見守りができるような街作りができると良いと思います。
- ・以前のように、授業の様子が見れたらいいなと思います。
- ・中学校との連携がうまくできていると思えません。
- ・クロムでの学習が増え、パソコンの使い方がとても向上していると思います。ただ、以前のようにノートに字を書くことや計算カードを繰り返すことなどの学習の基本も大切だと思うので、減らさないでもらいたいと思います。
- ・グランドデザインはわかりますが、実際に行われていることについてのフィードバックが足りていないためアンケートで判断できないことが多いと感じます。